



radio Camnetに続くマガジン版

心身健全

大槻ワールドへようこそ

CAMNETをお楽しみの皆様、いかがお過ごしですか？「心身健全！」のパーソナリティをしています、川崎医科大学 衛生学 大槻剛巳です。さてコラムマガジンCAMNETは夏号(7~8月号)ですね。暑い夏、皆さん、いかがお過ごしでしょうか？



さて、夏の紀行ですが、去年の夏、直江津に行ってきました。【越中富山方面から来た場合、郷津の辺りまでは岬や岩があったのに、ここからは直線とも言うべき海岸線で、真っ直ぐな砂浜が続くこととなります。つまり、真っ直ぐな江(海或いは浜線の意)で直江、そこにできた港(津)で、直江津になったと聞いています】という記載(<http://www.naoetsu-crs.com/104839/>)も見つけました。でも、ここは上杉謙信の居城「春日山城」があり、謙信といえば家老、直江兼続。愛という字の兜で知られている武将ですが、その直江家があったからってことかしら？【兼続が家名を継いだ直江氏の先祖が、もともと直江庄付近に所領を持つ豪族だったことは確かなようだ】との記載もあるので、地名に合わせて家名にしたのでしょうか。

でも、実はこの日の直江津紀行は悲しい現実でもあって、その後数ヶ月で同級生が亡くなったのですが、勿論、同級生も医学医療を極めた人間で、それを生業としていました。なので、その時の状況もわかっているし、将来についてもある程度見据えることが出来るのですが、確かに悪性腫瘍だったのです。いわゆる「がん」ですね。現状で亡くなる方の3人にひとりには癌、あるいは最近では治る癌も多いですから日本人の二人にひとりには癌に罹患するというのも現実なのですが、それでも、附属高校時代から9年間をずっと一緒に過ごしてきた仲間の罹患というのは、現実として受け入れていくのに厳しいものがあります。勿論、みんな、もう少しとはいえ還暦も迎えていないのに、って思うと。

それで、実は数人の友とともに見舞いに行っていたのです(この時を逃すと気持ちを通じ合わせて見舞うことも難しくなりそうだという冷静な判断も勿論あったのですが)。



それでも、その時はまだ元気に動いていて、彼の運転で近くの有名な蕎麦屋さんでランチを食べたりもしました。そして、春日山城の麓まで案内してくれたりもしたんです。

これは本当に貴重な時間になりました。集まった仲間はスキーなどでの繋がりが多い友たちでしたが、そして僕はそういったことより実習班で一緒だったりする(名簿が近い)なかで、どこかに共感をずっと覚えていた仲間って感じでした。その後の経過を考えても、本当にこの日しかなかったと思われる貴重な時間でした。哀しいことでした。そして、集まった一人ひとりも人生を考えざるを得なかった場面になってしまいました。ただ、そうかといって余り長居する訳にもいかず、ただ、翌日は東京で用事があったので直江津の午後、改めて「ひとりブラリ旅」。

親鸞聖人ゆかりの五智・国府地区~五智園分寺です。



なんとも立派な国分寺で素晴らしい三重塔もありました。さらに時間があったので春日山城に今度は徒歩で登城！近くの春日神社なども訪れてみたり、林泉寺という菩提寺にも参ってきました。ここには墓所もあり、上杉家の墓に幾度も参っているのですよって方もいらっしゃいました。ちょうど、戦国の山城から平地の城への移行の時期だったそうで、そういった遺跡の公園などもありました。天守のあった山頂からは上越市が一望、火力発電所もしっかり見えていました。



さて、夏のオリジナル曲
MORNING SWEET, SUMMER MAGIC

真夏の光たちが 踊りだす前に
必ず連れて行くよ 青空を越えて
Morning Sweet Summer Magic
ヒミツの言葉も 覚えてし
得意のポーズで スタートさ

眠りを抜け出せない 君は驚いて
あたりを見渡すけど 今は雲の上
Morning Sweet Summer Magic
マホウのツバサは 風まかせ
想いにまかせて 飛んで行け

※Hah- 白いサンゴ礁で 左に曲がれ
Hoh- ヤシの木陰まで 一直線さ
初めて 出逢った あの目に 決めたよ
君と2人の Dreamy Honey-Moon

光と遊び慣れた 海鳥の群れが
2人に唄いかける 南のWedding song
Morning Sweet Summer Magic
目覚めのシャワーを 浴びるなら
スコール経由の 船を取れ

※ repeat

輝く太平洋 はねるとびうおに
たずねる目的地は 夢の楽園さ
Morning Sweet Summer Magic
愛しているよと 告げるなら
太陽めがけて なげつけろ
1979.7.24.の作品でした。

オリジナルCD
プレゼントします！
詳しくは
プレゼントコーナーで

プロフィール

大槻 剛巳
(おおつき たけみ)

川崎医科大学衛生学教授
0歳:京都市福知山市にて
生誕
14歳:京都府中学校陸上
競技大会にて100mハ
ードル2位
14歳:KBS近畿放送AMラ
ジオでリスナーの詩として
採用
15歳:倉敷市に転居
15&18歳:NHKあなたのメ
ロディー出演
18歳:YAMAHAポプコン全
国大会(譜面の部)出場
20歳:YAMAHA神戸との連
携で楽曲依頼あり
24歳:川崎医科大学卒業
以降:川崎医科大学血液
内科~衛生学にて診療・
研究・教育に従事
1992-1996年:米国留学(医
学研究)
1996年:岡山県文学選奨
現代詩部門選外秀作とし
て「岡山の文学」に掲載
2009年:Camnet CH-F(10-
19)パーソナリティ担当
現在に至る